

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【公表番号】特表2008-518271(P2008-518271A)

【公表日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2008-021

【出願番号】特願2007-538938(P2007-538938)

【国際特許分類】

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

G 0 6 K 7/10 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/10 1 0 4 Z

G 0 2 B 26/10 F

G 0 6 K 7/10 L

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入射する光を反射するための走査コンポーネント(100)と、  
該走査コンポーネント(100)を支持するためのフレーム部(114、116)と、  
特に該走査コンポーネント(100)から反射された光を走査するために該走査コンポーネント(100)を振動させるための慣性ドライブ(50、52、50A、52A、50B、52B)と

を備える、光走査装置であって、

該光走査装置は、

プリント回路ボード(48)が、切取り部(118)を有し、

該フレーム部(114、116)が、該プリント回路ボード(48)に取り付けられて  
おり、該走査コンポーネント(100)を該切取り部(118)の上方で支持することにより、  
該走査コンポーネント(100)が該切取り部(118)内で自由に振動できるようにし、

該慣性ドライブ(50、52、50A、52A、50B、52B)が、該プリント回路  
ボード(48)に接触する表面エリアに取り付けられた圧電トランスデューサであって、  
該プリント回路ボード(48)を変形し、該フレーム部(114、116)および該走査  
コンポーネント(100)を振動させるように動作する圧電トランスデューサを有すること  
を特徴とする、光走査装置。

【請求項 2】

前記走査コンポーネント(100)は、中央部(108)を有し、該中央部(108)の  
対向面に一対のミラー(104、106)が取り付けられている、請求項 1 に記載の装  
置。

【請求項 3】

前記走査コンポーネント(100)は、箔部材であり、鏡面コーティングで覆われてい  
る中央部(108)を有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記圧電トランスデューサのうちの２つの圧電トランスデューサ（５０Ａ、５２Ａ）は、前記プリント回路ボード（４８）の上面に取り付けられている、請求項１に記載の装置  
。

【請求項５】

前記圧電トランスデューサのうちの別の２つの圧電トランスデューサ（５０Ｂ、５２Ｂ）は、前記プリント回路ボード（４８）の下面に取り付けられている、請求項４に記載の装置。